

平成15年度当初予算の編成についてのポイント

○平成15年度当初予算編成における目標

基金繰入金（一般財源）を平成14年度の核燃料物質等取扱税に係る制度的な特殊事情による影響分を除き前年度当初予算以下にする。

（参考）平成15年度基金繰入金目標額	187億円
平成14年度基金繰入金	251億円
核燃料物資等取扱税特殊事情分	△64億円
	<hr/>
	187億円

○平成15年度当初予算見積限度額設定

- (1) 平成15年度重点施策を推進するための「新プラン推進特別事業費」については、継続
- (2) 厳しい財政事情を勘案し、「一般政策経費」については、一般財源ベースで15%の削減
（「一般政策経費」の15%減は今回が初）
- (3) 社会情勢の変化等に対応するための緊急的な施策や事業の実施及び政策マーケティングシステムなどを踏まえた「施策の選択と重点化」をより一層推進するため、新たに「緊急課題等対応経費」を設定
- (4) 各部局における主体的な事務事業の見直しを促進するため、「部局主体型枠配分経費」を継続
（一般財源ベースで5%の削減）
- (5) 国の予算編成の考え方を踏まえ、「一般公共事業費」及び「国直轄事業負担金」については、県債と一般財源を加えたベースで10%の削減

○「青森県中期財政運営方針(仮称)」の策定を見据えた予算編成

平成15年度に策定する中期財政運営方針における取組課題につなげていくため、施策や事業の見直しを強化

○三役を中心とした予算編成会議の開催

政策課題の詳細な検討、政策目標や施策・事業体系の明確化等を推進するため、三役及び関係部局長で構成する予算編成会議を開催

会議においては、

- ・重点施策に基づく「新プラン推進特別事業費」
- ・新たに設定する「緊急課題等対応経費」
- ・施策や事業の見直し項目

等のうち、主要なものについて、事前に施策の方向性や事業の効果、見直しの妥当性等を検討